

工事着手前における河川環境団体との立会(R5多摩川中流河道掘削工事)

- 多摩川中下流部には複断面河道で交互砂州が分布し、一部礫河原には河原環境に生育する種が生息しています。
- そのため、多摩川緊急治水対策プロジェクトにおける河道掘削にあたっては、令和6年7月19日に「多摩川の自然を守る会」等の河川環境団体の方々のご意見をお聴きしながら、治水と環境の調和した川づくりを進めています。



【工事概要】

施工範囲(赤枠)の模式図



【河川環境団体への説明状況】



- 工事範囲内に生息する貴重種の保全のため、工事前の除草時期によっては種子を採取して、今後の工事の影響のない場所へ播種するとともに、種子を採取した周辺表土とともに移動する。
- 中州で除草する際には、カヤネズミが移動できるよう下流側から上流側へ徐々に除草する。